

### 二つの目標を達成できた

朝倉篤裕さん

4面川島記念学術賞の項参照  
会計士講座も受けていた。講座は資格に的を絞った表層的学習、授業は全体を理解する深層の学習と位置づけ、互いに補完し合うことで取り組み、効率的に学習を進めることができました。

学術奨学生に選ばれたことは4年間を通しての大きな目標でした。3年連続で奨学金を取得し、母に「次は卒業生総代を狙う」と冗談半分で言っていたことが、現実になって信じられない気持ちです。大学に入るまで「本気で取り組む」という経験がなかった私にとって、目標に向かって進むことに突き進んだこの4年間は本当に密度の濃いものでした。

### 家族、友人に支えられた就活

中村知美さん

マーケティング学科、伊藤和憲ゼミ、群馬県桐生市立商業高1日本ゲームカード就職活動がうまくいかなかった時期、多くの人に助けられました。就活を通じて得た親友は、面接の結果や内定のことなどストレートに伝え合えるとても心強い存在でした。そして家族、特に父の支えも大きく、私が「もう帰りたい」と弱音を吐いた時、「不安な気持ちに打ち勝つためにも、一問でも多く筆記試験の勉強をしよう」と厳しく接してくれました。その言葉があったからこそ、無事に内定を得ることができたのだと感謝の気持ちでいっぱいです。

「人と人は支え合って生きていく」。これは就活を経験して私が学んだことです。社会人として年代を超えた人々と積極的にコミュニケーションを図り、人を支えられる人材になりたいです。

### 米留学し社会学の単位取得

桑田健次さん

英語英米文学科、田邊祐司ゼミ、長崎県長崎北陽台高1UDトラックス

長期交換留学生として約9カ月間、米オレゴン大学に留学しました。苦労しながら現地の学生と同じ授業を受けました。最も大変だった社会学の授業では、毎回最前列に座り、ボイスレコーダーで教授の講義を録音。辞書を片手にテープを起し、つづりがわからない単語や文章は友人に聞き、教授に質問に行くこともたびたびでした。努力の甲斐あって、無事に

# “最高”の4年間

## 卒業生・修了生インタビュー

シップで「多摩川夕涼みコンサート」の企画・運営に携わり、良い経験になりました。3年次にはリーダーとして、5月から約3カ月間、準備を進め、企画の一つ、近隣の小学校からコンサートのイメージキャラクターを募集したのですが、予想以上に難航しました。そこでイベントの趣旨や内容を書いた企画書を直接学校に持参した結果、100点以上の作品が集まりました。何かをつくり上げるには、自分たちの取り組みや熱意を周りの人に理解してもらうことが大切だと実感しました。卒業後は地元テレビ局へ。ひとりでも多くの人が楽しめる番組づくりを目指して頑張りたいと思います。

### 地元に帰って復興に携わる

新國智樹さん

カトリック教徒のホストファミリーや、世界中からの留学生と交流を持っていたのも大きな財産。異なる価値観を否定せず、その背景を考え、柔軟に受け止めることができるようになりました。人と人の幅を広げてくれた留学経験は、大学生活の一番の思い出です。

### イベント運営でリーダー役に

杉山 光さん

日本語日本文学科、備前徹ゼミ、山梨県吉田高1テレビ山梨

課題解決型インターン

採用担当の方はその点を評価してくださったのだと思います。大学時代に自分の好きなことを突き詰めたおかげで、就職活動で大きな実を結べたのかもしれない。

### リーダー体験糧に卒業制作

坂本 巨さん

4面川島記念学術賞の項参照  
3年次のプロジェクト演習では途中でサブリーダーからリーダーに。チームワークには情報共有やスケジュール管理が大切と痛感、自ら動けば人間関係が広がることを実感しました。その体験が組み込み技術との作りをテーマとする綿貫研究室での卒業制作に生かされました。

### 成長に繋がった子どもとの交流

池田ななこさん

人文学科、嶋根克己ゼミ、神奈川県桐光学園高1メガハウス

卒業後は玩具メーカーで働きたいと思っています。その中でも第一志望の会社に就職が決まり、とてもうれしく思います。

### プロジェクト仲間と強い絆

松島彩夏さん

ネットワーク情報学科、望月俊男プロジェクト、東京都錦城高1ヤフー

先生方や友人に恵まれた4年間で、特にプロジェクトの仲間とは強い絆を結ぶことができました。研究テーマは「岡本太郎美術館の大学生向けの美術館鑑賞

され、発電機の測定・記録表示システムを学生たちで完成させ、効果の定量的表示ができるようになりました。

小学校での体験授業や川崎国際環境技術展への出展など学外での活動やマニュアル作り、論文に追われ、最後まで忙しく、しかし充実した4年間でした。

くと、趣味が似ている人とうれ違った時に携帯電話が鳴って教えてくれるというもので、私はシステム開発班のリーダーを通して、良い社会を築きたいと思ったからです。思索を重ねて自分の問題意識を論文として提示することは、やりがいのある仕事です。また、学

指導教授と「価値観」を共有しての議論やさまざまな判例の理解で、奥深い知識の探究の世界へ導いていただき、学問の醍醐味を味わわせていただきました。卒業後は法学部に進学しました。

大学院時代(中央大学法学部)、将来は法曹の道に進みたいと心に決めていました。少人数教育が特徴の専修大学法科大学院に入学しました。

大学院時代(中央大学法学部)、将来は法曹の道に進みたいと心に決めていました。少人数教育が特徴の専修大学法科大学院に入学しました。

### 大学院

#### 社会貢献する研究者を目指す

谷口 智紀さん

4面博士後期課程総代の項参照  
法学部で4年、大学院で6年、通算10年間を専攻して過ごしました。

### 知識の探求は学問の醍醐味

長井 祐介さん

4面修士課程総代の項参照  
専攻分野は租税法。将来、法学に携わる仕事に就きたいと思っています。研究交流から社会に貢献する機会をいただきました。

### 「顔の見える」教育に触れた

永井 太丸さん

4面法科大学院修了者総代の項参照  
法学部で6年。法学専攻は、先生方と教授の下、学問と研究に励みました。

学 部	学科・専攻	一部	二部	計
経 済	経 済 学	617	125	943
	経 済 学 (ファイナンス)	201	-	-
法 学	法 政 経 商 学	639	159	952
	法 政 経 商 学 (マケティン)	154	-	-
商 学	マ ケ テ ィ ン 学	724	-	724
	マ ケ テ ィ ン 学 (アカデミック)	4	4	8
文 学	本 語 学	606	125	972
	日 本 文 学	233	-	-
	日 本 文 学 (文化)	60	-	-
	日 本 文 学 (文学)	137	-	-
	日 本 文 学 (言語)	191	-	-
	日 本 文 学 (歴史)	53	-	-
	日 本 文 学 (地理)	99	-	-
	日 本 文 学 (社会)	39	-	-
	日 本 文 学 (環境)	105	-	-
	日 本 文 学 (総合)	54	-	-
ネ ッ ト ワ ー ク 情 報 学	ネ ッ ト ワ ー ク 情 報 学	243	-	243
	ネ ッ ト ワ ー ク 情 報 学 (総合)	4159	413	4572

  

研究科	専攻(コース)	修士課程	博士後期課程	計
経 済 学	経済学(ファイナンス以外)	19	1	22
	経済学(ファイナンス)	2	0	2
法 学	法 学	-	0	0
	法 学 (法)	-	2	2
文 学	日 本 文 学	10	1	11
	日 本 文 学 (文化)	8	0	8
	日 本 文 学 (文学)	1	0	1
	日 本 文 学 (言語)	1	0	1
	日 本 文 学 (歴史)	5	2	7
	日 本 文 学 (地理)	2	0	2
	日 本 文 学 (社会)	7	0	7
	日 本 文 学 (環境)	16	0	16
	日 本 文 学 (総合)	9	0	9
	日 本 文 学 (その他)	1	0	1
経 営 学	経 営 学 (経営学)	1	0	1
	経 営 学 (情報管理)	4	1	5
	経 営 学 (アカデミック)	5	0	5
	経 営 学 (ビジネス)	2	0	2
	経 営 学 (アカデミック)	13	0	13
商 学	会 計 学 (アカデミック)	105	7	112
	会 計 学 (アカデミック)	105	7	112

※上記修了者の他に、学位規程第14条第1項のただし書きによる学位取得者が4人います。